

SDGsへの取り組みを強化・促進させる人的支援

2024年度

分科会提案者：一般社団法人目白心理総合研究所

継続

分科会の目的	SDGsへの取り組みを進めている企業・自治体・関係各所をつなぐ関係づくりと、実施工程で生じる人と人、人と組織との間に起こる問題や課題を検討し、組織全体の活性化と生産性の維持・向上に向けた円滑なソリューションに貢献すること。
解決したい課題	・持続可能な社会への変化に伴う、人と人、あるいは組織との問題への早期対処 ・問題を早期に対処することで得られるメリットの共有、共創関係づくりの促進

分科会での活動内容及び期待される成果

活動①：SDGsに取り組むにあたり、各参加団体等が直面している問題や課題をヒアリングし、抽出した課題を検討

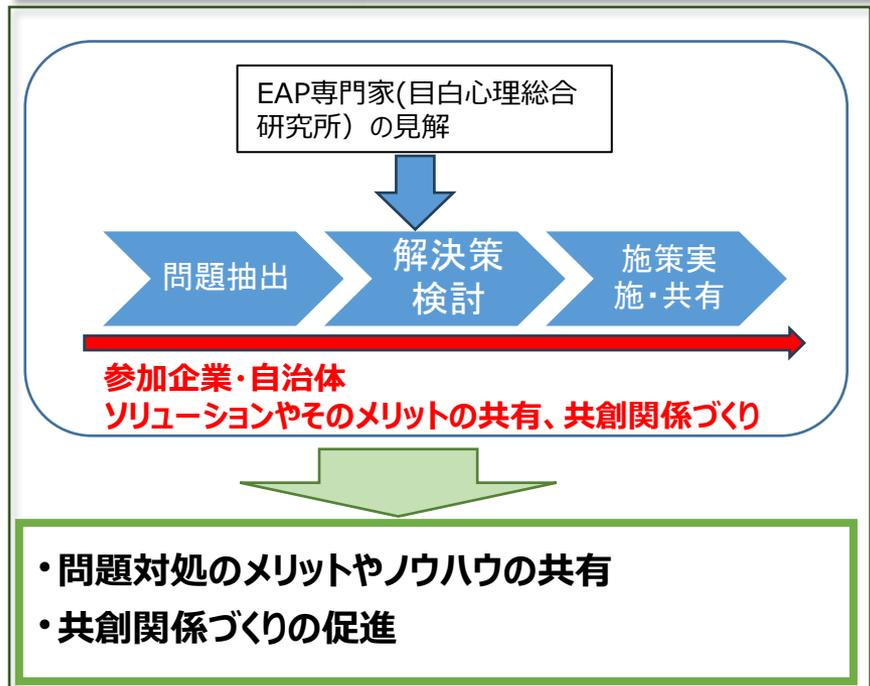
(例)「職場の多様化についていけない」「SDGsの取り組み方、結果に対するストレスを解消したい」など

活動②：解決にむけた支援連携、共創関係づくり、勉強会(コミュニケーションスキル研修、EAP専門家による問題の分析や検討会など)を実施。事例および成果報告会の開催

成果

- ・分科会参加団体間におけるコミュニケーション活性化と、協働・共創関係への発展
- ・問題解決によるSDGsに向けた全体的な取り組みの促進ならびに労働力の定着、人手不足の解消

主に関連するゴール



働き方と生産性の両立研究

一般社団法人 目白心理総合研究所

2024年度

新規

<p>分科会の目的</p>	<p>多様化する働き方とその生産性は両立するのか、会員である企業や自治体とが共に検討してソリューションを生み出すことにより、SDGs社会へ貢献することを目的とする。</p>
<p>解決したい課題</p>	<p>かつては働き方の改革と生産性は共に成り立たないと言われていたが、現在はその両方が求められている。働き方と生産性の向上を両立するための解決策を、EAP専門家の視点を交えながら考える。</p>

分科会での活動内容 及び 期待される成果

活動①：「長時間労働と生産性」（10月開催予定）
単に時間のみを是正する長時間労働防止策は、管理職の負担増につながらないか、生産性にどう影響するのか集中的に討議、ソリューションを見出す。

活動②：「働き方改革と生産性」（12月開催予定）
昨今盛んになっている働き方改革は、本当に生産性をあげることににつながるのか。EAP専門家の視点も交えてソリューションを考える。

活動③：「離職防止策と生産性」（2月開催予定）
最近の離職に対する風潮を鑑み、どう捉え、生産性の低下を招かないようにするかを考える。

成果

- ・多様化する働き方への対応
- ・職場環境の構築に向けた具体的な施策の明瞭化

主に関連するゴール

